

### 【Ⅲ】 夏休みを思い出す樹木

少年時代の思い出は夏休みである。友達を誘って朝早くクワガタを採りに近所の雑木林へ行った。何もとれずにカラの虫籠をぶら下げて空しく帰路についた。敗北感と同時に挫折感を初めて味わったが、今となってはいい思い出である。しかし敗北ばかりでもない。友達と自転車に二人乗りして、当時にしてみれば、かなり遠方まで出かけて、偶然カブトムシの山を見つけた。100匹に余るカブトムシを捕まえて意気揚々と引き上げてきた。胸が高鳴った。このころから小生の自然に対する興味は、クルクル回すと大きくなる『夜祭』のワタアメのように広がっていった。

中学校に入ると蝶を集めるようになった。それまでとは異なり、電車に乗って遠出するようになって来た。最初に出かけたのが相模大山であった。もちろん目標はギフチョウである。しかしその片鱗すら見ることもできずにコツバメを数匹捕まえて、それでも来年へと希望をつないで帰ってきた。

その年の夏休み、林間学校で丸沼へ行った。初めて白樺という木を知り、感激した。ポプラやブナ、ミズナラを知ったのも同じ頃である。生まれて初めてキベリタテハを捕虫網へ収めた。胸がドキドキするほど興奮して、ますますチョウチョにのめり込んだ。翌年にはミドリシジミとアカシジミを初めて見つけた。今では公園になっているさいたま市桜区秋ヶ瀬の雑木林である。そしてはるか上空を滑空するオオムラサキの雄姿を見た。まるで無音で飛ぶ戦闘機のようなだった。オオムラサキの採集方法を考えるようになって、エノキとケヤキの違いがわかるようになった。秋ヶ瀬の公園には何度も足を運び、雑木林が底知れぬほど豊穡であることを悟った。

しかし忘れることができないのは小学校の夏休みである。始めて自然に触れたときの、あの言葉では尽くせない感触である。当時の小生にとって自然は無限に広く、奥深かった。もっと先へ進もうとする好奇心と、引き返したいという恐怖心とがいつも交錯していた。そして少年時代の夏休みを思い出すとき、きまって吉田拓郎氏の歌が脳裏をかすめる。♪麦わら帽子はもうきえた。♪たんぼの蛙はもうきえた。それでも待ってる夏休み♪…きれいな先生もういない。それでも待ってる夏休み♪。しかし皮肉なことに今では毎日が夏休みである。

※ 世界自然遺産条約＝正式名称は、『世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約』(Convention Concerning the Protection of the World Cultural and Natural Heritage)である。1972年パリで開かれた国際連合教育科学文化機関(UNESCO)総会において同年11月16日に採択された国際条約である。



上はクジャクチョウ(長野県美ヶ原高原)。下は蝶を追う親子(長野県川上村)。



クリの古木の上で一休みするムササビ(2016.07.12.軽井沢)。この日は町の職員が、街中へ下りてきたサルを山へ追い返すため、サルの嫌う音波を出しながらやってきたが、これに驚いたムササビが、クリの木の上に上がって、人間世界の喧騒を見下ろしていた。

この項に記されている植物のリスト
------------------

**【Ⅲ】 夏休みを思い出す樹木**

03-03-00-1

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 1) ブナ=山毛櫨/撫/栴   | 03-03-01-1 |
| 2) ナラ=楡/柞/枹     | 03-03-02-1 |
| 3) クヌギ=櫟/栲/橡/櫪  | 03-03-03-1 |
| 4) カシワ=柏        | 03-03-04-1 |
| 5) カシ=榲/榿       | 03-03-05-1 |
| 6) ニレ=榆         | 03-03-06-1 |
| 7) エノキ=榎        | 03-03-07-1 |
| 8) ケヤキ=欒        | 03-03-08-1 |
| 9) シラカバ=白樺      | 03-03-09-1 |
| 10) ハシノキ=榛の木    | 03-03-10-1 |
| 11) ポプラ=白楊      | 03-03-11-1 |
| 12) クスノキ=楠      | 03-03-12-1 |
| 13) ユーカリの木=有加利樹 | 03-03-13-1 |

<a href="#">目次に戻る</a>
-----------------------